



2019年10月23日

各 位

上場会社名 日本鑄造株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 鷲尾 勝
 (コード番号 5609)
 問合せ先責任者 経理部長 池田 憲英
 (TEL 044-322-3751)

2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

2019年7月19日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の第2四半期連結累計期間の予想値と本日公表の2020年3月期の第2四半期連結累計期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2020年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想数値との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|-------|------|------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,400 | 100 | 100 | 90 | 17.54 |
| 今回実績(B) | 5,295 | △28 | △20 | 13 | 2.61 |
| 増減額(B-A) | △104 | △128 | △120 | △76 | |
| 増減率(%) | △1.9 | — | — | △85.1 | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期) | 6,486 | 295 | 311 | 211 | 41.29 |

差異の理由

売上高は、出荷が10月以降となった製品があり予想を下回りました。

利益については売上高減少の影響に加えて、販売構成の影響(相対的に利益率の低い鑄造品が売上に占める割合が増加)があり上記のとおりとなりました。

なお、通期連結業績予想に変更はございません。

上半期に対し下半期は、大型鉱山機械向け鑄鋼品や橋梁部品の売上の増加を見込み、通期では115億円の連結売上高を予想しています。利益面では、下半期の売上増加およびコスト削減(機械加工設備導入による外注費の抑制や作業工程見直しなど)により3億円の連結経常利益を予想しております。

以 上